

津軽鉄道の乗務員だけでなく、様々なイベントを企画してきたアテナントが、イルミネーションで津軽中里駅を灯しました。太宰治生誕110年のロゴや桜のアーチ、走れメロス号などを電飾で表現し、2月15日(金)から2月24日(日)の間、午後3時40分から午後8時30分まで津軽中里駅で点灯しました。

また、2月23日(土)には、金多豆蔵応援隊協力のもと、津軽中里駅でストーブ列車を歓迎し、せんべいづくり体験や郷土料理の提供などおもてなしをしました。津軽半島観光アテナント代表の小枝美知子さんは「ストーブ列車に終点まで乗車してもらい、津軽鉄道をより楽しむきっかけになってほしい」と話しました。



中泊さ、よぐ来てけだっきゃの～

木古内町が北海道新幹線
3周年記念ツアーで来町



北海道新幹線開業3周年記念ツアーで、3月3日(日)に中泊町を訪れました。このツアーは日帰りで、中泊町で「中泊メバル膳」を堪能して、ストーブ列車で五所川原市を周遊する内容で、約30人が木古内町から来ました。

津軽中里駅では、メバルをかたどったタイ焼き「中泊はメバ焼き！」の実演販売があり、メバル押しの中泊町をPRしました。ツアー参加者は中泊町を後にした後、五所川原市を自由散策して帰路に就きました。

青函トンネルで160キロを体感!?

函館フリーツアー開催

公共交通の利用促進を目的に、奥津軽いまべつ・津軽中里駅間二次交通連絡バス「あらま号」を乗り継ぎ、北海道新幹線に体験乗車する「函館フリーツアー」が、3月17日(日)に催行されました。このツアーは日帰りで、当初30人ほどで参加募集していたところ、募集開始直後に申し込みが殺到し、急遽80人での催行が決定しました。

奥津軽いまべつ駅に着くと、今別町のゆるキャラ「あらまくん」と「たづなちゃん」、県のキャラクター「マギョロウ」がツアーのお出迎えをしてくれました。函館駅でもJR北海道職員が横断幕を持ってツアーを歓迎しました。フリーツアーということで、参加者たちは函館駅に着くとレンタカーを借りたり市場で海鮮丼を食べたりと、それぞれ楽しんでいました。

ツアーに家族で参加した須藤貴子さんは「ずっと楽しみにしていた。子どもたちに初めての新幹線を体験させることができてよかった」と話しました。次男の龍生君はツアーを振り返り「初めての新幹線で、発車がドキドキした。イカやボタンエビを食べれて楽しかった」と新幹線に乗れたことが嬉しかったようです。

今回のツアーは、あらま号と北海道新幹線を介して、北海道を身近に感じてもらう目的で、昨年度の寒中みそぎ祭り見学ツアーに続いて開催されました。来年度もツアーを実施予定です。ツアー催行が決定しましたら、広報なかどまり、町のホームページなどでご案内します。

